

コンチェルト

第4回 仙台国際音楽コンクール

ヴァイオリン部門:2010年 5月22日~6月6日

ピアノ部門:2010年 6月13日~6月27日

2010.12. 21 Vol.4-8

第5回コンクールは2013年開催!

Concerto
The 4th simc Volunteer News

仙台国際音楽コンクール

歴代優勝者へのインタビューが実現しました!!!

今年の仙台クラシックフェスティバル(せんくら)には仙台国際音楽コンクールの優勝者5名が出演しました! また、仙台滞在中にアウトリーチコンサートで市内の学校を訪れました。優勝者が一同に会するという素晴らしく貴重な機会にインタビューさせていただくことができましたので、世界各地で活躍する優勝者達の近況と素顔を皆様にお届けします。

☆仙台市立黒松小学校 9/29(水) 対象:3・4年生(約260名) 出演:松山 冴花、津田 裕也

☆仙台市立鶴谷特別支援学校 9/30(木) 対象:小・中・高・保護者(約250名) 出演:ホアン・モンラ

☆宮城県立視覚支援学校 9/30(木) 対象:小・中・高・専攻・保護者(約100名) 出演:タン・シヤオタン

☆常盤木学園高等学校 10/1(金) 対象:音楽科生徒 出演:ジュゼッペ・アンダローロ

「アウトリーチ」

英語で「手を伸ばす」という意味で、芸術の分野では、主に、芸術に親しむ機会が少ない方や、ホールに来る事が出来ない方のいる場所にアーティストが出向いて活動を行うことを指す。

ホアン・モンラさん

(第1回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝)



ー 現在、主にどちらで活動をされていますか?

現在住んでいるハンブルグを中心に上海や日本で活動をしています。近年は若い人がコンサートに足を運んでくれるので中国での演奏機会を増やしています。中国では上海音楽学院で指導も行っています。

ー ハンブルグでの生活についてお聞かせください。

ハンブルグに引っ越したのはごく最近で、その前は3年ほどロンドンにいました。その際は室内楽の演奏に多く携わっていました。演奏家の暮らしとは単調なもので、自分の演奏活動や他の演奏者のコンサートを聴きに行く以外は練習をしています。

ー 仙台国際音楽コンクールでの優勝は、あなたの音楽生活の中でどんな影響を及ぼしましたか?

一番は自信がついたこと。そのおかげもあって、翌年のパガニーニコンクールで優勝できたと思います。また、日本で名前が知られて演奏の機会が増えました。

ー 今日のアウトリーチコンサートの感想をお聞かせください。

とても楽しかったです。音楽はどんな人にも楽しんでもらいたいものなので、アウトリーチコンサートというものを自分も大事

にしています。私の夢は色々な人の前で演奏することなので、良い経験になりました。

ー あなたが尊敬する音楽家はいらっしゃいますか?

それぞれの演奏家には違う持ち味があるので、選ぶのは難しいです。あえて挙げるなら、ギドン・クレーメルさん。彼は若い人が新しいものを作り出す原動力になっているように感じます。私は音楽を商売としてではなく、美しいものとして捉えている方に敬意を払っています。

ー 自分の楽器以外で演奏したい楽器はありましたか?

実はチェロをやりたいかったです。深く暖かい音色の心地よさが魅力です。ピアノも良いですね。ヴァイオリンは単旋律を奏でるのに対し、ピアノは色々な和音が同時に奏でられます。その広がった空間の中で音楽を奏でてみたいです。また、オーケストラを奏でるという意味で指揮者にも興味がありました。演奏をミスしても、奏者の責任なのでとても良い役回り。というのは冗談で(笑)、実際は全ての楽器のことを知らなければならぬので大変に難しい仕事です。やろうと思って出来るものではないと思います。

ー 息抜きと趣味を教えてください。

読書と散歩です。旅行もします。演奏会などのための練習ではなく、自由にヴァイオリンを弾くことも趣味と言えるでしょうね。

ー 健康法はありますか?

疲れたときは眠ります。座ったり寝転がったりしてゆっくり休めます。そして、おいしいものを食べます(笑)。

ー 仙台へ来られた際、必ず食べる物はありますか?

うどん、ラーメン、しゃぶしゃぶ、みそ汁、おでん。寿司は特にとびっこ(トビウオの卵)の握りが好きです。牛タンもおいしい!(笑)

ー 今後の活動予定をお聞かせください。

将来は、音楽学校を作って子供達の指導をしたいです。たくさんコンサートを行って、レコーディングをして、マスタークラスも積極的に開きたいですし、中国でクラシックの普及にも尽力したいです。また音楽的な楽しみとしては、ソロだけでなく、弦楽四重奏、トリオや室内楽など、他の演奏家との共演の機会を持ちたいと願っています。

ジュゼッペ・アンダローロさん

(第1回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝)



ー 現在、主にどちらで、どんな活動をなさっていますか？

今ミラノに住んでいて、月に数回のコンサートに出演していますが、そのほとんどはイタリア国内です。音楽中心の生活ですが、一緒に住んでいる婚約者と旅行に出かけることも多いです。彼女の故郷のセルビアにも行きましたし、私の故郷のシチリアにもよく行きます。ドライブも好きでお気に入りのスポーツカーで、イタリアからスイス、スロベニア、クロアチア、セルビア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴヴィナを1日で横断したこともあります。

ー 仙台国際音楽コンクールでの優勝はあなたの音楽生活にどのような影響を与えましたか？

コンクールで入賞することによって多くの演奏機会を得ることができました。そして、数多くの国と聴衆の前で、様々なプログラムを演奏するという素晴らしい経験ができました。それは音楽面だけでなく、プロの演奏家として生きる私の人生に大きな影響を与えていると思います。

ー 今のお住まいと、そこでの生活についてお話し頂けますか？

ニューヨークの中心マンハッタンに住んでいますが、2匹の猫と一緒に生活していて、ヴァイオリンの練習をしたり、教えたり(プライベートレッスン)、走ったりしています。フィラデルフィアの音楽事務所にも所属しているので、そこでも演奏活動をしています。ツアーもあるので、ニューヨークにいるのは1年の半分くらいだと思います。

ー 仙台国際音楽コンクールでの優勝はあなたの音楽生活にどんな影響を与えましたか？

優勝のおかげで色々なドアが開きました。コンサートが増えたり、マネージメントがついたりしたので感謝しています。また、自信が付きましてし、仕事が増えたので本当によかったと思っています。

ー 今日のアウトリーチコンサートの感想をお聞かせください。

子供たちは素直なので緊張しますね。でも、子供たちは良いと思えば目をキラキラさせて聴いてくれます。そのような出会いが私にとってすごく良い力になったと思います。

ー 今日のアウトリーチコンサートについて曲の選び方で工夫された点がありましたか？ (演奏曲は、ヴィエニャフスキ、ファリア、ストラヴィンスキー、となりのトトロ)

例えば、ストラヴィンスキーは元々バレエの曲で、ファリアは歌(スペイン民謡)に基づいたものですが、ヴァイオリンとピアノで演奏する曲以外にも素晴らしい曲が沢山あることを知ってもらいたいと思って選曲しました。

ー あなたが尊敬する音楽家、目標としている演奏家についてお話し頂けますか？

私にはたくさん先生がいますが、その中で、ロナルド・コープス先生は人の長所を育ててくださる方です。またマイケル・ギルバート先生は曲の構造とか、楽譜を見てここはどういう音色を出したら良いかというアドバイスをくださるので、特にこの2人の先生を大変尊敬しています。また、演奏家ではベルギー出身のアルチュール・グルミオーの甘い音色が好きで、よくCDを聞いています。

ー 仙台国際音楽コンクールが他のコンクールと比べて違う特徴はどのような点だと思いますか？

オーケストラと数多くのコンチェルトに挑戦できたことが私にとって大変興味深い経験でした。私は個人的にオーケストラの音楽が大好きですが、交響楽や現代ピアノ曲も好きです。実は、私の夢は指揮者になることだったので、オーケストラとの共演はそういう意味でも興味深い経験でした。

ー 理想的な音楽家のあり方についてお聞かせください。

私に出来ることには限りがありますが、演奏活動を通して皆さんからいただいた愛に報いたいと願っています。そして、良き人として生きて、愛に溢れた幸せな家庭を築きたいです。そして、人生を楽しむことも大事ですね。音楽家としてのキャリアや名声を積み上げることに執着することなく、人としてバランスの取れた人生を送りたいと思います。

ー 現存の音楽家で誰か尊敬する方はいらっしゃいますか？

熱狂的に好き!という人がいるわけではありませんが、名前を挙げるとすれば、クリスチャン・ツィメルマンが好きです。他にも偉大なピアニストがたくさんいますが、ロシア人のグレゴリー・ソコロフ、彼は世界で最高のピアニストの1人です。

ー 今後の活動計画についてお話をください。

今は婚約者でもあるティヤナ・アンダレイチさんとデュオ・コンサートを行っています。彼女は主要なコンクールで入賞している素晴らしいピアニストです。そして、作曲家で素晴らしいチェリストのジョバンニ・ソッリマさん、同じくチェリストで、1995年に仙台で開催された「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」で第1位に入賞したモニカ・レスコヴァルさんとの4人のカルテットで、来年2月にイタリアのパレルモ、トリエステ、タヴァニャッコで公演を予定しています。

また、3月には私のリサイタルをローマで、4月にはジョバンニさんとのデュオリサイタルをトリエステで行う予定です。それらはすべてイタリア国内の演奏で、残念ながら日本でのコンサートの予定はありません。ぜひ、日本に招待してください(笑)。

松山 冴花さん

(第2回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝)



ー 今日のは楽器の説明がありましたが、お使いの楽器は何ですか？

ヴィヨーム(1827年フランス製)で弓はトルテです。

ー 仙台に来る度にいつも食べる食べ物、料理がありますか？

以前、紐を引くと蒸気が出て暖まる牛タン弁当にすごく感動し、それ以来仙台から東京への移動の際には必ず買います。刺身も美味しいですね。

ー ヴァイオリン以外に弾いてみたいみたい楽器はありますか？

琴を弾けるようになりたいのですが、正座が出来ないので無理じゃないかと言われてしまいました…。琴を弾いている友人に触らせてもらったことがあるのですが、弦の数が多くて大変でした。

ー 息抜きと趣味について教えてください。

自転車に乗ったり走ったりしています。後は猫と遊んだり。そうそう、愛しの旦那さまをいじめたりするの(笑)。

ー 今後の活動の予定についてお話し頂けますか？

来年11月に津田さんと国内ツアーを計画しているところですが内容はまだ内緒です。

タン・シヤオタンさん

(第2回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝)

ー 近況を教えてください。

2008年以降、基本的には中国の北京に住んでいて、北京中央音学院で先生をしています。教える活動をしている時は北京に、それ以外の時はコンサートで中国国内やヨーロッパ、日本で演奏するという生活をしています。

ー 演奏活動と教える活動の割合は？

コンサートのオファーはあるのですが、学校の長期休暇の期間だけコンサート活動ができるという状況です。休暇中にコンサート活動を行っているので自分の休みが取れないでいます(笑)。



ー 演奏活動と教える活動のどちらが大切ですか？

全く違う内容なので難しい質問ですね。コンサートは成功すればとても幸せになれるのですが、もしかしたら何か悪い事が起こるという可能性をいつも秘めています。一方、教えるという事は大変安定した形で落ち着いて行なう事ができるのですが、生徒に伝えたいことが上手く伝わっているかどうか、という部分が難しいです。今は、演奏活動と教えるという活動の両方にやりがいを感じており、今のところ自分がどちらに向いているとか、どちらに比重を置いているとは言えない状況です。

ー 今回の来日で奥様に何かお土産を買う予定は？

お土産というか、(ポケットからリストの紙を出しながら)しっかり

買って来て欲しい物を頼まれて・・・(笑)。

ー 仙台国際音楽コンクールでの優勝はあなたにどのような影響を及ぼしましたか？

私にとってコンクールでの入賞は「窓を開けてくれた」というふうに考えています。そして、より一層成長することができたと思っています。素晴らしいオーケストラや指揮者と演奏する機会を多く得られたことも重要でした。そして私がプロのピアニストに成長するための大きな機会を与えてくれたと思います。

ー 今日の視覚支援学校でのアウトリーチコンサートについて感想をお聞かせください。

生徒さんたちに何かさせてもらいたい私の気持ち「Do something」を届けたいと思って演奏しました。クラシック音楽を何かの形で、彼らの人生を良くするための効果があるようなものになって欲しいと願っています。私の演奏を静かに(熱心に)聴いてくれたということは音楽に興味を持ってくれたと思いますので良かったです。

ー 仙台に来た時に好んで食べるものはありますか？

牛タンやラーメンそれとお気に入りの居酒屋があるので、そこで魚料理を食べます。

ー ピアノを弾く為に何か特別にしていることはありますか？

特に気をつけていることはありません。今まで健康だったのはラッキーでした。スポーツをやったほうが良いのかもしれませんが、今までピアノ一筋でした。

ー 今後の活動の予定などをお聞かせください。

教えるという活動と演奏活動を中心にしてきましたが、忙しくて疲れ気味なので、今後はコンサート活動を少し減らすことになるかもしれません。そして、家族との時間を大切にしたいです。自分の生活を豊かにしていくことで音楽活動も豊かにしていくという方向にする年齢(時期)になったのではないかと思います。

ー 現在お住まいのドイツでの活動についてお聞かせください。

今年の5月にドイツで初めてのリサイタルを行いました。また、8月にはボーフムという街の美術館やドレスデン近郊でも演奏する機会がありました。その時に呼んでくださった方の計らいで、今年の10月と来年の1月にまた呼んでいただける予定です。そして、仙台でもそうですが、皆さんが大変温かく接してくれます。コンサート出演のためにホールの練習室の窓を開けて演奏していると、散歩している人が覗きにきて気軽に声をかけてくれたこともありました。

ー 海外では食べ物に気をを使うのでは？

外食もしますが、どうしても油っこいものが多くなってしまうので自炊も多いです。料理をすることも好きです。そして、やっぱり日本のものが身体に合うので、ご飯と味噌汁を良く食べています。ごはんを多めに炊いて冷凍して、納豆もまとめ買いして冷凍しています。後は、野菜を取るために野菜スープを大量に作って、2日目はトマトなど別の食材を入れたりして味を変えながら楽しんでいます。料理が息抜きにもなっているかもしれません。そうそう、温麺が簡単に料理できるので大量にストックしています。

ー 仙台へ帰って必ず食べるものは？

寿司や魚料理などの生ものです。ドイツではサーモンだけはサラダに入っていますが、それ以外はなかなか食べられないので。

ー 息抜きはどのようなことを？

よく歩きますね。散歩が好きなので。あとは、友達とよく遊びますよ。公園にある卓球台で卓球をしたり、この間はバドミントンで頑張りすぎて次の日に腕が上がらなくなったこともありました。普段スポーツをしていないのでそういうことになるのですが、今住んでいる部屋が5階にあってエレベーターが無いので、外出のたびに良い運動をしています(笑)。

ー アウトリーチコンサートについての感想をお聞かせください。

すごくいいことだと思います。こちらもうごく楽しいです。今日は弾き始めたとき子供たちがびっくりした表情をしていたのが印象的でした。ピアノは身近な楽器かもしれませんが、松山

津田 裕也さん

(第3回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝)



冴花さんと一緒だったので、初めてヴァイオリンを聞く子が多かったのかもしれないし、私たちの演奏に新鮮な印象を持ってくれたのかもしれない。

ー 仙台国際音楽コンクールでの優勝はどのような影響を及ぼしましたか？

コンクールをきっかけに演奏会の機会が増え、松山さんと一緒に活動できたり、オーケストラと共演できたり、音楽家としての活動の幅が広がったことに感謝しています。また、先ほどお話しした、ボーフムのコンサートに私を呼んでくださった方は、仙台国際音楽コンクールの結果をホームページで見て興味を持ったようです。コンクールで優勝したことでいろんな可能性が広がっています。

ー 今後のご予定は？

来年の3月12日と13日に日本でヴァイオリンの堀米ゆず子先生と共演させていただく予定があります。

※その後、第4回コンクール優勝のクララさんと共演決定！(詳細は裏面)

第4回仙台国際音楽コンクール優勝記念演奏会を開催します！

過去最高レベルと評された第4回コンクールにおいて、卓越した表現力と存在感を発揮して優勝を果たしたクララ・ジュミ・カンとヴァディム・ホロデンコ。若き実力派の素晴らしい演奏をお楽しみください。



クララ・ジュミ・カン ヴァイオリンリサイタル

2011年6月1日(水) 19:00開演(東京)
2011年6月3日(金) 19:00開演(仙台)

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 op.78
イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 op.27-3
ショーン: 詩曲 op.25
チャイコフスキー: 感傷的なワルツ op.51-6
チャイコフスキー: ワルツ=スケルツォ
ヴィエニャフスキ: 華麗なポロネーズ 第2番 イ長調 op.21

ピアノ: 津田 裕也

ヴァディム・ホロデンコ ピアノリサイタル

2011年6月2日(木) 19:00開演(東京)
2011年6月4日(土) 14:00開演(仙台)

メトネル: ソナタ三部作 op.11
メトネル: 6つのおとぎ話 op.51
プロコフィエフ: つかの間の幻影 op.22
プロコフィエフ: ピアノ・ソナタ 第5番 op.38

会場: 東京 浜離宮朝日ホール(東京都中央区築地5-3-2)
仙台 仙台市青年文化センター コンサートホール

予約・お問い合わせ

東京リサイタルチケット: 朝日ホールチケットセンター Tel: 03-3267-9990
仙台リサイタルチケット: 仙台市市民文化事業団企画調整係 Tel: 022-727-1875
公演内容について: 仙台市市民文化事業団コンクール推進課 Tel: 022-727-1872



■チケット(全席指定)

＜東京リサイタル＞
一般3,800円
学生1,000円
2公演セット券6,000円

＜仙台リサイタル＞
S席3,000円
A席2,500円
学生(A席)1,000円
2公演セット券(S席)5,000円

■プレイガイド

＜東京リサイタル＞
朝日ホールチケットセンター
チケットぴあ(Pコード124-708)
イープラス
仙台市青年文化センター1階事務室
イズミティ21

※2公演セット券、学生券は朝日ホールチケットセンター、青年文化センター、イズミティ21のみ取り扱い。

＜仙台リサイタル＞
チケットぴあ(Pコード123-717)
藤崎、三越仙台店、ヤマハミュージック
東北仙台店、カワイミュージックショッ
プ仙台、仙台コンサートソサエティ、河
北チケットセンター、仙台市青年文化セ
ンター1階事務室、イズミティ21

※2公演セット券、学生券は青年文化センター、イズミティ21のみ取り扱い。

第4回仙台国際音楽コンクール

記念公式CD発売! [ライブ録音]



■クララ・ジュミ・カン [FOCD9490]

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64
ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

指揮: パスカル・ヴェロ
管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団

■ヴァディム・ホロデンコ [FOCD9491]

モーツァルト: ピアノ協奏曲 八長調 K503
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18
ラフマニノフ: 「メロディ」 op.21-9

※ヴァディム・ホロデンコ編曲/ピアノ独奏

指揮: 山下一史
管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団



2010年12月21日発売開始! 取り扱い: 全国のCDショップ
各2,520円(税込) 発売元: 株式会社フォンテック

仙台国際音楽コンクール関連イベント

街かどコンサート[市民センター編]

仙台国際音楽コンクールのPRと、広く市民の皆様様にクラシック音楽を気軽に楽しんでいただくために、シリーズで開催しているミニコンサートです。

今回は市内11ヶ所の市民センターを会場に、市内で活躍している演奏家や音楽を勉強している学生による演奏をお届けします。

どこかで聴いたことがあるクラシックの名曲を中心とした親しみやすいプログラムをお楽しみください。

3月3日(木)	14:30~15:30	富沢市民センター
3月4日(金)	14:30~15:30	貝ヶ森市民センター
3月4日(金)	18:30~19:30	八本松市民センター
3月5日(土)	14:30~15:30	中田市民センター
3月5日(土)	14:30~15:30	七郷市民センター
3月5日(土)	18:30~19:30	将監市民センター
3月6日(日)	14:30~15:30	桂市民センター
3月6日(日)	18:30~19:30	六郷市民センター
3月9日(水)	14:30~15:30	柳生市民センター
3月9日(水)	18:30~19:30	片平市民センター
3月10日(木)	14:30~15:30	大沢市民センター

■直接会場にお越しください。(申し込み不要/無料)

主催: 仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、財団法人
仙台市市民文化事業団、財団法人仙台ひと・まち交流財団

真の意味の「アウトリーチ」の考え方、そして実践がますます広まっていくことを願っています。(三)

彼の奏でるピアノも素敵ですが、アルマーニの舞台服を、もう手に入れたかしら?聞き逃しました。(吾)

昼食のサンドウィッチを前にしての慌ただしいインタビューでしたが、当初予定していたより多くの質問にお答え頂けました。(NH)



編集後記

限られた紙面でのレイアウト編集の難しさを経験し、普段何気なく読んでいる新聞や雑誌がありがたく思えるようになりました。(II)

金星への次回探査機投入は今のところ6年先。そんな思いを馳せながら、ホルストの金星(平和をもたらす者)を聴きたくなった。(薫)

初めてインタビューに参加させて頂きました。英語がもっとできたなら、もっと色々話せたのに...と少し反省。勉強もがんばります!(樹)



発行: 第4回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ: (財) 仙台市市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局) Tel: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp / URL: http://www.simc.jp/